



報道発表

世界アルツハイマーデーに伴う認知症に関する普及・啓発について

9月21日は、世界アルツハイマーデーです。

「世界アルツハイマーデー」(9月21日)は、国際アルツハイマー病協会と世界保健機関(WHO)が共同で1994年に制定し、アルツハイマー病等に関する認識を高め、世界の患者と家族に援助と希望をもたらすことを目的としています。また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、認知症に関する正しい知識や理解を深めるため、全国各地で様々な啓発活動が行われています。

浜松市においても、「認知症になっても安心して暮らせるまち 浜松」を目指して、この機会に、誰もが発症する可能性があり、身近な病気である認知症について、市民の皆さんが考え理解を深めるきっかけとなるよう普及・啓発を行います。

記

1 内 容

- ①浜松城天守閣ライトアップ(認知症のシンボルカラーであるオレンジ色)
- ②認知症の正しい理解に関する展示

2 場 所

- ①浜松城天守閣
- ②浜松市役所本館1階ロビー

3 日 時

- ①令和5年9月21日(木)から27日(水)まで 午後6時～午後10時
- ②令和5年9月19日(火)から29日(金)まで(閉庁日を除く)

4 問い合わせ

浜松市健康福祉部高齢者福祉課 TEL(053)457-2105

5 その他

国では、急速な高齢化の進展に伴い認知症の人が増えている現状に鑑み、認知症の人の尊厳を保持しつつ希望を持って暮らせる社会の実現を推進するため、本年6月16日に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が公布されました。浜松市においても、認知症を自分ごととして捉え、認知症になっても認知症本人の希望や意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らし続けるよう「認知症になっても安心して暮らせるまち 浜松」を目指して取り組みます。

